



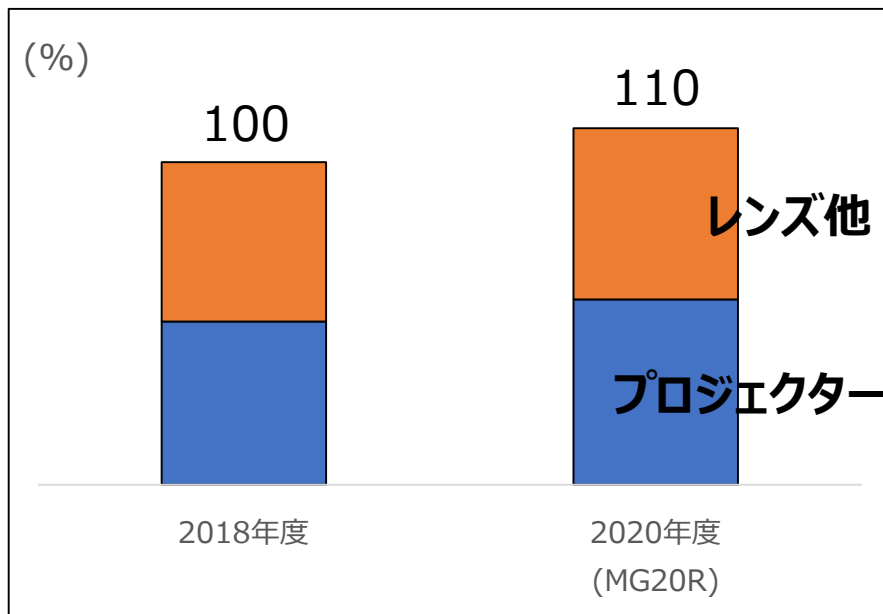
中期経営計画 MG20R 事業説明会 光エレクトロニクス事業本部

1. MG20R 中期経営計画

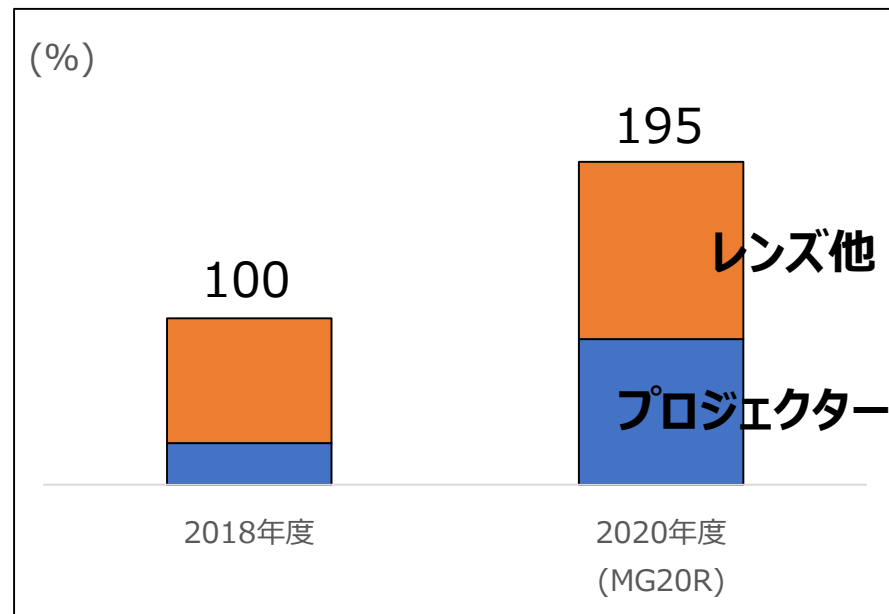
MG20R目標

■ 売上高	110% (対18年)
■ 営業利益	195% (対18年)

売上高



営業利益



* 上記は事業本部の目標値であり、グループの公表値とは一致しません。

2. 事業ロードマップ・強み技術

プロジェクター基礎技術 ➡ 車載・映像・レンズビジネスに展開



※HUD : Head Up Display、 AR : Augmented Reality(拡張現実)

3. 成長ドライバー製品

		2020年		2021年～	
主要製品		売上	利益率	売上	利益率
 住生活 インフラ  住生活 インフラ  自動車  自動車  自動車	プロジェクター 	☐ マクセルブランド立上げ → マクセル販社に切替 ☐ 新光源フルラインアップ		→	→
	映像ビジネス 	☐ システムパッケージ商品 教育・デジタルサイネージ用途として提案		→	→
	車載ビジネス 	☐ 車載用映像商品 (カーメーカと共同開発品含む)		—	→
	車載カメラレンズ 	☐ 先進運転支援システム(ADAS)市場に向けた センシング用レンズの展開		→	→
	LEDヘッドランプレンズ 	☐ LEDヘッドランプ市場増加に伴う デザイン多様化に対応した商品展開		→	→

4. MG20R達成に向けた新たな施策

■ プロジェクター戦略 (18年度黒字化転換)

- ・マクセルブランド立上げ : 認知度アップ、拡販体制確立
- ・新光源へのシフト : 新光源フルラインアップ(単価アップ、赤字ランプ削減)
- ・新事業への展開 : 車載ビジネス(HUD)、映像ビジネス(LCS他)

※ HUD : Head Up Display
LCS : Lecture Capture Station

■ レンズビジネス拡大

- ・車載カメラレンズ : 先進運転支援システム(ADAS)対応のセンシング強化
- ・LEDヘッドランプレンズ : デザイン多様化に対応した商品展開

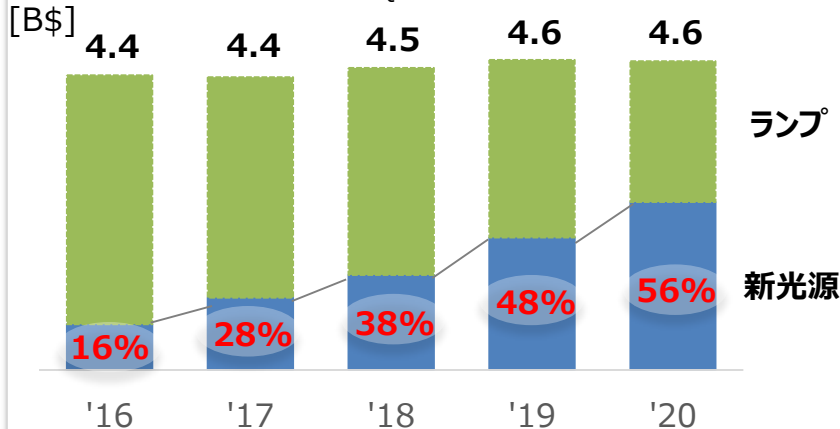
5-1. プロジェクター

市場規模、成長率

プロジェクター成長率:台数横ばい
新光源成長率：金額130%/年

(1)WW光源別市場(金額) B2B(2,000lm以上)市場

出典：PMA Research 2018Q2 FCT



(2)平均売価

新光源3.0k\$, ランプ0.8k\$ (19年予測)

主要市場シェア・ポジショニング

WWシェア(新光源) 19年12%、20年20%

中期経営計画 (MG20R) 目標

営業利益率 5%以上

製品特長 (強み)

自社開発品ボリュウムゾーンまで拡大

強み技術：小型・高効率光学系
高効率・低騒音冷却

今後の注力ポイント

マクセルブランド商品強化による黒字継続

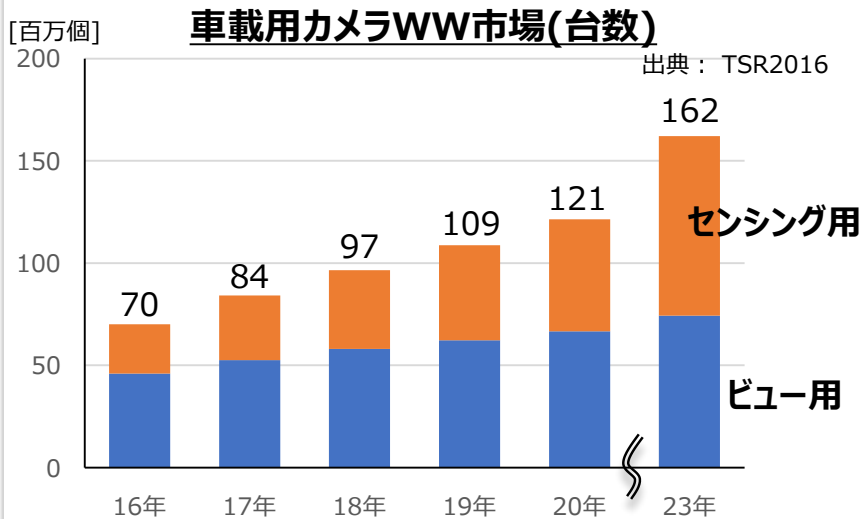
(1)マクセルブランド立上げ

(2)新光源フルラインアップ

5-2. 車載カメラレンズ

市場規模、成長率

**先進運転支援システム(ADAS)市場拡大
センシング用成長率：2.8倍(17年-23年)**



主要市場シェア・ポジショニング

WWシェア 20%以上、No.1を目指す

中期経営計画 (MG20R) 目標

営業利益率 10%以上

今後の注力ポイント

急成長センシング市場でTOP(20年以降)

(1)高性能高信頼性センシング

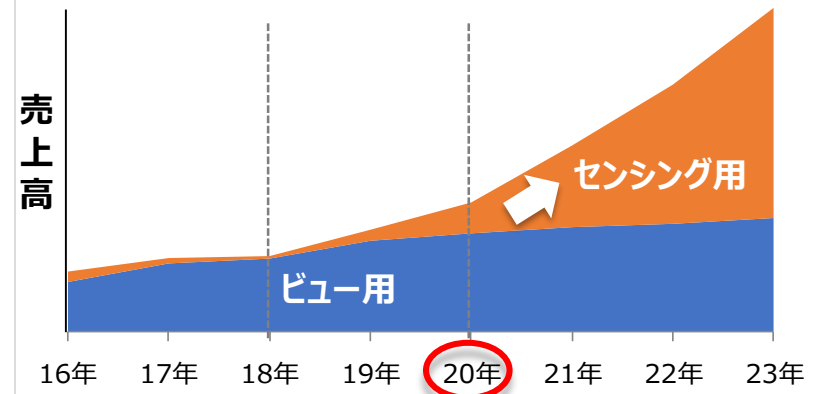
- ・ハイブリッド技術(プラスチック+ガラス)
- ・材料プロセス技術(Super AR Coating)

(2)センシング用の新規顧客獲得

(3)WW 3 拠点体制とコスト競争力の構築

売上計画

2020年ビュー→センシング拡大の端境期



5-3. LEDヘッドランプレンズ

市場規模、成長率

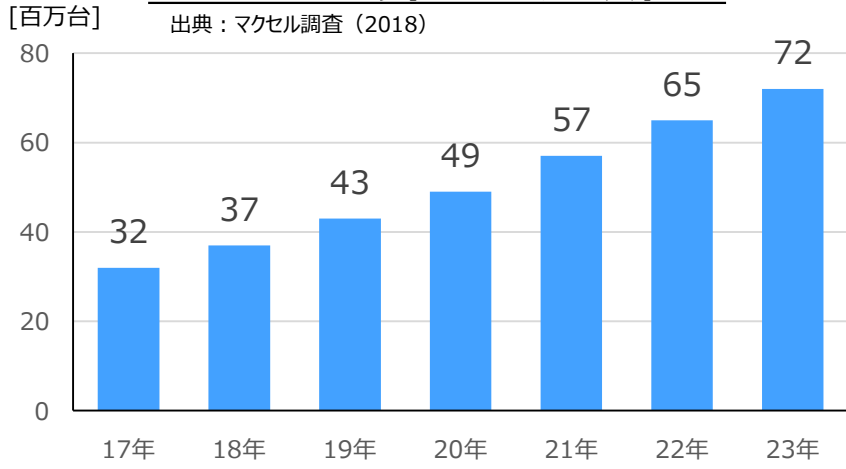
LEDヘッドランプ市場拡大

(LED搭載率：20年29%→23年50%)

標準丸レンズの価格下落 (-3~5%/年)

WW LEDヘッドランプレンズ需要

出典：マクセル調査 (2018)



主要市場シェア・ポジショニング

WWシェア(台数) トップシェアをキープ

中期経営計画 (MG20R) 目標

営業利益率 10%以上

今後の注力ポイント

市場開拓・商品展開

- (1) 伸長する市場開拓(中国、インド、ASEAN)
- (2) 「脱・レンズ単品」付加価値創出
- (3) 原価低減特進、WW共通品質の実現

製品・ビジネス展開

2007～	2010～	2018	2019	2020～
			ユニット組立 サブAssy	
ヘッドランプレンズ			・中国、インド、ASEAN拡大 ・異形、厚肉化、長尺化 ・高耐熱材料等への対応	
	ライトガイド インナーレンズ			リフレクタ

進捗状況

■ HUD (Head Up Display)



ARヘッドアップディスプレイ

- コンセプト** 自動運転化に伴い、ドライバの運転支援(進行情報表示等)
- 市場** WW 1,100万台(2021年)
- 強み** プロジェクターで培った光学技術、遠方表示、小型化、省電力化
AR技術を搭載したHUD(AR-HUD)は、世界初
- 発売** 2020年度出荷(目標)

進捗状況

■ Lecture Capture Station (授業録画システム)



Lecture Capture Stationと簡単操作パネル

サーバへ
アップロード
Webで閲覧



コンセプト

Webで復習、遠隔地で学習効果、テレビ会議活用

市場

WW40万台(2020年)(欧米:高等教育で一般化、中国:政府主導で実用化)

強み

コンシューマで培った簡単操作、プロジェクター教育販路の活用

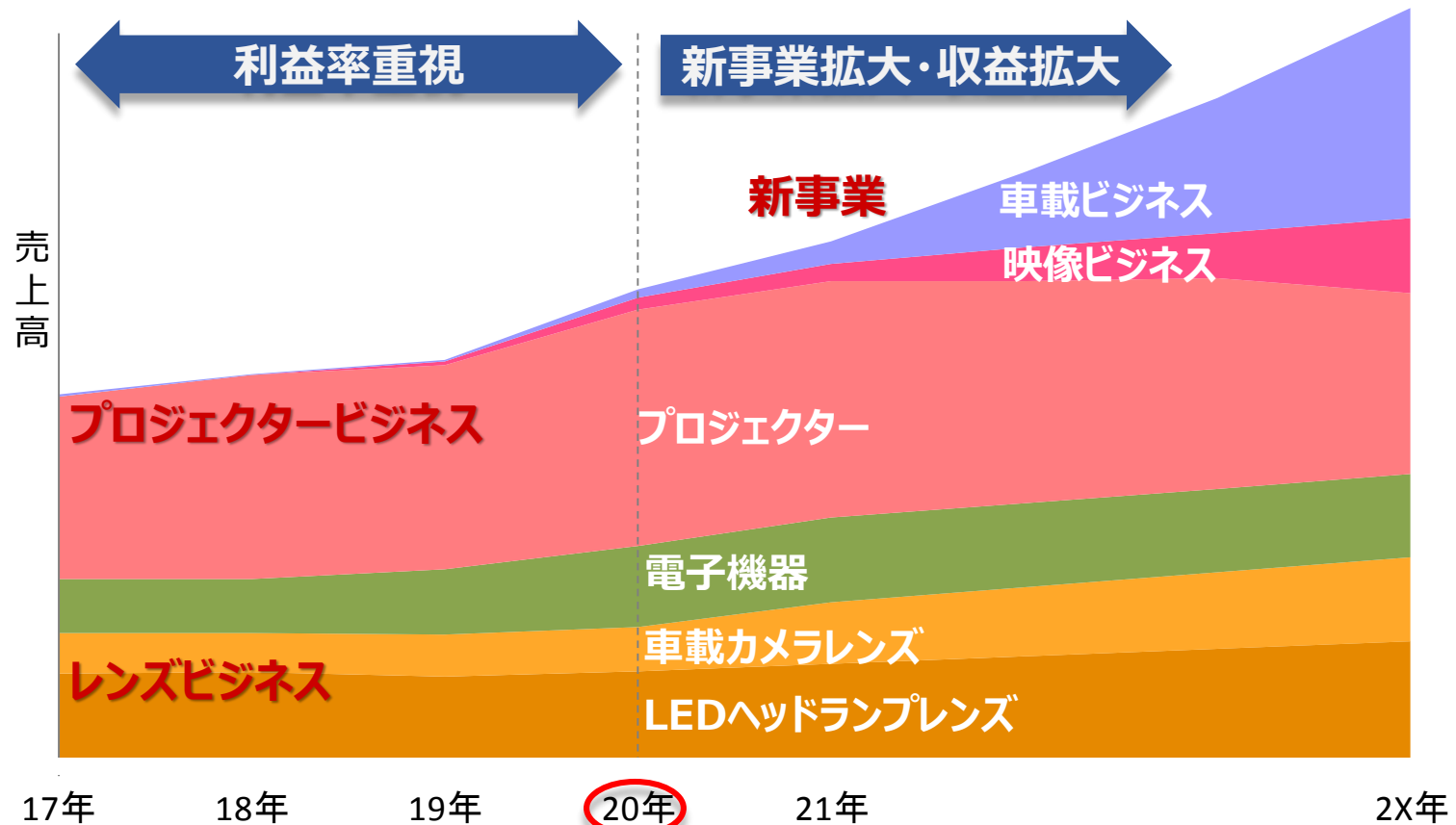
コンテンツ・インタラクティブ・授業風景を同時録画

発売

英・豪向け出荷(2019年3月) (19年度予定:欧、中東、印、星、台、米州)

7. 事業拡大 (売上構成)

現行事業 ➡ 新事業を加えて事業拡大



maxell
Within, the Future

＜将来に関する記述についての注意事項＞

将来にわたる予想の部分につきましては、皆さまの投資の参考資料として、任意にご提供するものであり、当社の推測・予測に基づくものであります。従いまして、確約や保証を与えるものではありません。

予想と異なる結果となる可能性があることをご認識のうえ、ご活用くださいますようお願い申し上げます。